

# トレンド研究会

1991年11月26日

ロゴス文化会館

テーマ 西中国地方の活性化の要

## 「国際職業訓練学院」(IVTI) 設立構想について

発題者 大脇 準一郎

### I 21世紀への新しい経営理念

社会的貢献、人間尊重、国際性

### II 情報化時代と鳥取

1. 鳥取のデメリットをメリットに。引っ込み思案の殿様商売

2. 1990年代のトレンド

‘60年代	‘70年代	‘80年代	‘90年代
効率化 重工業化 物	自由化 ハイテク化 (脱工業化) 物+金	多様化 情報化 国際化 物+金 人+情報化	個性化 文化 グローバル化 +企業文化

① 国家・企業のグローバル化 → 地域・個人のグローバル化

② 技術→情報化→ソフト化→文化(遊び)

③ 高齢化・・・人口の10%(生涯教育)

④ 技術革新、コンピューター、衛星放送

現代の課題

短期：ソ連東欧の危機、貿易摩擦、途上国の累積債務・・・

長期：地球環境破壊、資源エネルギー、人口問題、

道徳的退廃、教育の危機

### III 21世紀と大学

1. 大学のトレンド

個性化、高度化、経営情報、英語、国際文化、看護

鳥取大学「人間文化コミュニケーション学部」創設

2. 21世紀に向けた教育改革

①教育問題=人間を形成する生態系の問題 ②国際化 ③情報化 ④新しい価値観の樹立 ⑤社会性

⑥留学生の受け入れ体制の改善 ⑦民間の活力の導入

#### 3. アメリカ大学日本校

障害 {文化省の不認可、日米の教育システムの相異

4. 国際協力大学の例

①国際開発高等教育機構(外務省)・・・{ODAを効果的に実施するための援助人

材。高等教育機関における開発援助の教育、研究の促進

②アジア経済開発大学（通産省）

③留学生のトレンド

Cf, 国連大学、国際平和大学、国際大学、筑波大学、JICA 研究所、  
アジア学院

## 5. 太平洋大学構想（1978）

21世紀の新しい文化の可能性を探り、環太平洋文化の開発・発展と太平洋共同体形成の為の人材養成  
言語教育、地域研究、地域開発センターの3学部

附属機関 {国際訓練センター、コミュニケーションセンター、データセンター}

## 6. 国際企業文化大学／日米企業文化センター

新しい企業理念の構築、企業活動、ならびに経営者行動比較、研究調査、  
教育啓蒙

## 7. 鳥取国際経営情報短期大学構想

①電気・電子・情報系 ②法・経・商 ③外国語系

人材の育成、地域の活性化、文化レベルの向上、町づくり、シンボル性、  
経済効果

## 8. その他の新構想大学

新見短大、広域事務組合方式

神奈川歯科大と TSD・・・経営情報と文化、産学共同

第二放送大学構想・・・筑波学園都市

衛星大学構想・・・中京大

## IV 国際職業訓練学院 International Vocational Technology Institute

専修学校レベル→大学.

### 1. 趣旨

①グローバルでローカルな時代 先進国と後進国（南北問題）

都市と農村（過疎問題）

②精神と物質文明、東西の融合、真の幸福、Quality of Life

大西洋→太平洋文化→日本海→アジアの時代

③平和な時代の到来

④福祉、平準化、自立心、協力

⑤GIF 構想、物から人へ、心の時代へ

国連大学 Global Education

基本理念 {共存・共栄・共義、国際貢献（留学生）、社会性（高齢化、生涯  
教育}

### 2. 目的

① 国際協力の人材育成 ②発展途上国の国づくりに貢献

② 地元産業、西中国地方の活性化に貢献

### 3. 目標

①初年度入学者数120人、3年度360人

②修学年限3年

1. 語学、一般教養、基礎技術

2. 専門技術教育

3. 地元産業等で実習

③卒業後の進路

自国、または外国へ帰国（40名）

地元産業へ就職（40名）

国内他府県へ就職（40名）

(ア) 奨学金制度

④将来は1000人～2000人規模に拡大

4. 資金計画

①自己資金

県、市、町、村、地元企業

② 全国から公募

GIF、政府、投資家

外務省、通産省、文部省、国土省、経済庁、建設省

5. スケジュール

①基本構想研究所発足 1991～1992

マスター委員会（調査研究構想、渉外、公報）、組織委員会、  
財務委員会

②設立決定 1993

教官募集、学生募集、建設計画

③建築着工

完成 1995. 4 開校

6. 組織

①コアメンバーの選定

シンボル、学長、国際大学の例

②地元産業界の協力体制

産、官、学、政

③全国的協力体制

東京（産、官、学、政）中国地方、西中国地

④国際ネットワーク

7. 潜在資産の点検

① 教育・研究機関、境水産高校、智頭農林、砂丘研究所、農業者大学

② 地元企業（鳥取三洋、日本セラミック）

\*参加者：吉田幹彦、児島、八村、小谷、清水 他